

2014年5月20日  
東京都社会福祉協議会

# 非正規介護職の5割が介護福祉士資格の取得意向

～資格取得のための支援制度のさらなる充実を～

都市部での介護人材の不足が続く一方、介護サービスの質の向上も急務の課題です。都内の介護職は10万人を超え、正規介護職の半数以上は介護福祉士です。しかし、非正規介護職の介護福祉士資格取得率は低いままの状況です。

“介護の専門職”としての介護福祉士資格取得率を高めることで、介護サービスの質の向上にもつながります。本会では、非正規介護職、その所属する施設・事業所の資格取得意向や資格取得支援の取り組みの実態を明らかにすることで、介護職のキャリアアップや施設・事業所としての資格取得支援策に活用することを目的に調査を実施しました。

## 【調査のあらまし】

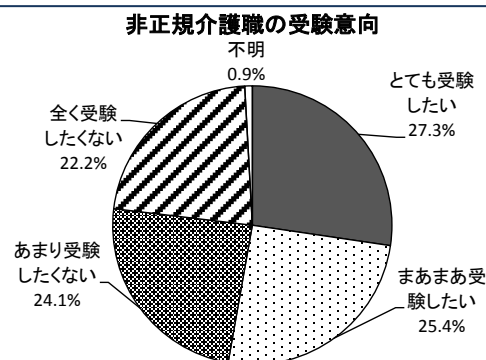
目的	非正規介護職、その所属する施設・事業所の資格取得意向や取り組みの実態を明らかにする。
対象	都内の①介護老人福祉施設、②通所介護事業所、③訪問介護事業所のうちから無作為抽出
対象者	調査対象各施設・事業所の管理者1名、各施設・事業所に所属する非正規介護職員2～5名
調査期間	2013年10月～11月
方法	郵送による送付、回収

回収状況	施設種別	調査数	回収数	
			管理者	回収率
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	100	53	53%
	通所介護事業所	100	46	46%
	訪問介護事業所	300	122	40.7%
	計	500	221	44.2%

## 【調査結果の概要】

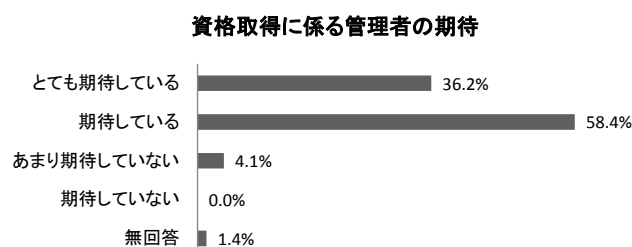
### 1 非正規介護職のほぼ半数が、介護福祉士国家試験に「受験したい」と考えています

- ▶ 非正規介護職の介護福祉士国家試験受験意向は、「とても受験したい」27.3%、「まあまあ受験したい」25.4%となっています。一方で、「まったく受験したくない」は22.1%、「あまり受験したくない」は24.1%でした。
- ▶ 「とても受験したい」「まあまあ受験したい」を合わせると52.7%あり、「まったく受験したくない」「あまり受験したくない」は46.2%と、ほぼ半々となっています。



### 2 多くの施設・事業所の管理者は、非正規介護職員が介護福祉士国家資格を取得することに期待をしています

- ▶ 「非正規介護職員が介護福祉士国家資格を取得することに期待をしているか」では、施設・事業所の管理者は、「期待している」が58.4%「とても期待している」が36.2%で、合わせて94.6%という結果でした。



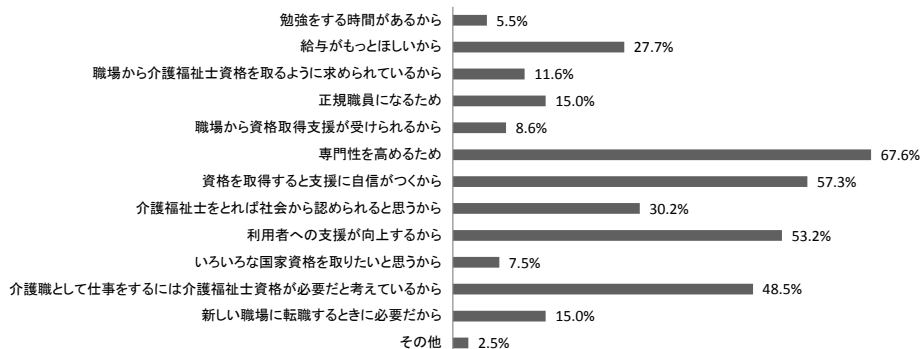
▷ 管理者の多くが、非正規介護職の資格未取得者には、国家資格を取得してもらいたいという期待をしています。

### 3 非正規介護職の多くは、受験したい理由について、「労働条件の改善」よりも「専門性向上」をめざしたいと考えています

▶ 「受験したい」、「まあまあ受験をしたい」理由では、最も多かったのは、「専門性を高めるため」が67.6%と最も多く、「資格を取得すると支援に自信がつくから」は57.3%、「利用者への支援が向上するから」が53.2%となっています。

- ▶ 「給与がもっとほしいから」とする回答は、27.7%で、最も高かった「専門性を高めるため」と比較すると4割程度も差がありました。非正規介護職にとって資格取得をするということは、専門職として専門性を研鑽することと捉えています。
- ▶ もちろん、給与が上がり、待遇が改善されることも望んでいますが、利用者へのサービスの質を高めたいという希望をより多くの方が持っています。

介護福祉士国家試験を受けようとする理由




### 4 受験をしたくない理由が、「いまのままでいいから」が最も多い

- ▶ 「受験をしたくない」「受験をあまりしたくない」と回答した非正規介護職の理由は、「いまのままでいいから」59.9%、次いで「いまさら勉強をしても受からないと思うから」が28.4%となっていますが、それ以外の回答も30%以下であり、「いまのままでいいから」が突出しています。
- ▶ 「いまのままでいいから」とする回答を、年齢別でみると40代は11.8%でしたが、50代は33.7%、60代は49.7%となり、50代から60代の多くが現状維持を望む結果となっています。

### 5 職場から資格取得のためのサポートが受けられれば、受験をしようとする非正規介護職員が多くいます

- ▶ 介護福祉士国家試験を「受験したくない」「あまり受験したくない」とする非正規介護職に、「どのような条件が揃えば試験を受験しようとするか」確認しました。
- ▶ 最も多かった回答は、「職場からのサポートが受けられる」が29.7%で、次いで、「資格取得後、給与が上がるのが保障されている」が24.9%となっています。
- ▶ 一方で、「条件が揃っても受験はしない」が21.5%ありました。年齢別にみたととき、60代以上が最も多く、67人中46人(68.7%)が「条件が揃っても受験はしない」としています。年齢が高くなるにつれ、介護福祉士国家試験の受験意向について消極的になる傾向があるといえます。

調査報告書は  東社協 ウェブサイトでご覧いただけます。

URL <http://www.tcsw.tvac.or.jp>

#### <調査結果に関するお問合せ>

101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館3階  
 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉振興部 都民企業担当  
 電話：03-5283-6890 FAX：03-5283-6997